

外資系企業に立地促す

岡山県など 招待ツアー始まる



県工業技術センターの試験室を見学する参加者

象を語った。

外資系企業などに岡山県内の産業支援機関や工業団地を見学してもらい、県内への立地を促す「招待ツアー」(県など主催)が、26日から2日間の日程で始まった。

中国、韓国、インドなど計6カ国・1地域から自動車や鉄鋼、IT、金融関連企業の役員ら19人が参加。テックノサポート岡山(岡山市北区芳賀)では、産業が集積しており、県企業誘致・投資促進路開拓は可能」と印

進課の万代洋士課長から、比較的災害が少なく、鉄道や高速道路網も発達している岡山の特長を聞いた。27日は人工島・玉島ハーバーアイランド(倉敷市)を案内する。

創業支援施設・岡山市工業技術センターやサーチパークインキュベーションセンター(いずれも同所)の試験設備や研究室も見学した。

(内田博文)

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。